

平成 25 年度 第 4 回浦安市環境審議会 会議要旨

1. 開催日時 平成 25 年 12 月 26 日（木）午前 10 時～

2. 開催場所 浦安市消防庁舎 3 階 多目的室

3. 出席者

（委員）

柳憲一郎、奥真美、石川正純、樂々道夫、山口定代、吉原幸守、大杉麻美、古賀典道、畑中範子、大石昇、加藤里行、六井元一、渡辺雅彦

（事務局）

都市環境部長 長峰敏幸、都市環境部次長 大塚伸二郎、
環境保全課長 宇田川道高、
ごみゼロ課長 熱海寿雄、
環境保全課環境計画係長 平林俊明、
同課環境計画係 藤原紀征、村瀬さやか
同課環境推進係 大塚理恵

4. 内容

(1) 部長あいさつ

(2) 議題

- ・平成 25 年版環境基本計画年次報告書に基づく環境基本計画の進捗状況について
- ・その他

5. 配付資料

- ・資料 1 平成 25 年版浦安市環境基本計画年次報告書（案）

6. 会議経過

○平成 25 年版環境基本計画年次報告書に基づく環境基本計画の進捗状況について

・説明

「1. 安心して暮らせる生活環境が保たれ、健やかに暮らせるまち」について事務局より説明を行った。

（会 長）

ただいま事務局から説明があったが、これについて質問はあるか。

（会 長）

P36 からの水質調査結果について、環境省では、東京オリンピックの開催が決まり、選手への影響等の情報として、大腸菌群数を把握しておく必要があるということで審議がされている。調査は行っているようだが、結果が示

されていない。結果はどのようになっているのか。

(事務局)

猫実川、堀江川、見明川について調査を行っており、その結果は資料編に掲載している。

(会長)

余白スペースもあるので、本編で推移が見られるとよい。境川で調査していないのはどのような理由か。

(事務局)

猫実川、堀江川については定常的な水源がなく、重点的に水質監視を行ってきたことによる。

(会長)

大腸菌群についても今後環境基準設定を検討されている状況なので、対応しておいたほうがよい。

(事務局)

見直しをしてみる。

(委員)

P32の地図がわかりにくい。

(会長)

白黒印刷なのであればわかりやすい表示に工夫したほうがよい。

(委員)

P50の平成24年度実施状況が1か所空欄になっている。これは、実施がないということか。

(事務局)

実績がないということがわかるように修正する。

(委員)

P47の地盤沈下の新観測地点(U-17~U-22)については、平成23年度より観測を始めたのに、H25に変動量が入るのはどういうことか。

(事務局)

新観測地点(U-17~U-22)については、都市再生機構から千葉県に移管されたものであり、千葉県の公表数値を掲載している。観測を始めた平成24年1月と平成25年1月の標高変動量を示している。

(委員)

現在の表記は、変動量から計算しなければならぬためわかりづらく、もともとの標高値を示してほしい。

(会長)

変動量で示すのであれば、経年で比較できるようにベースとなるデータを加えて見やすくするなど、見やすく表記を改める。

(委員)

P49苦情対応(悪臭)について、「千葉県や京葉ガスと連携して・・・」となっているが、原因者という印象を与えかねないので、表現を変更したほうがよい。

(事務局)

「千葉県やガス事業者と連携して・・・」に変更する。

・説明

「2. 水と緑や歴史・文化とふれあえる、潤いと安らぎのあるまち」「3. 環境への負荷の少ない、地球にやさしい循環型社会をめざすまち」「4. 協働で進める、環境保全に積極的に取り組むまち」について事務局より説明を行った。

(会長)

ただいま事務局から説明があったが、これについて質問はあるか。

(委員)

各環境目標冒頭の文章は、24年度の取り組みを総括して評価する趣旨のものか。計画期間全体を通じての取り組みを総括するものか。P54やP100は、整理する必要があるのではないか。

(事務局)

基本目標の考えをベースとして触れることが前提ではあるが、年次報告書として、その年度の取り組みを記載した内容に修正したい。

(委員)

市民の取り組み、事業者の取り組みを紹介する部分について、昨年と同じ事業者や市民の取り組みを掲載予定なのか。異なる事業者や団体の取り組みを紹介してはどうか。

(事務局)

毎年、異なる団体、事業者の取り組みを掲載しており、今回も昨年とは異なる団体、事業者に依頼をしている。

(委員)

P70、P72、P73の事業系ごみ排出量の値、一人あたりの1日平均家庭系ごみ排出量の値が異なる。

(事務局)

P70の数値については、注釈【家庭系ごみ排出量については、拠点回収量(牛乳パック、発泡トレイ及び廃食用油等)を含む。また、事業系ごみ排出量については、公共施設の紙類を含み、災害廃棄物を含まない。】に示した数値になっている。その他については確認し、修正する。

(会長)

整合を取るように整理する。

(委員)

P54、P56の郷土博物館を利用した学校教育0回とP68博物館活用体験事業156団体は違うものか。表現は整合が取れているのか。

(事務局)

P68博物館活用体験事業156団体のうち、水辺に関する内容がP54、P56の郷土博物館を利用した学校教育0回となっている。

(委員)

P80 からの基本目標 3 「2. 資源・エネルギー」「3. 地球環境問題」について、ここだけまとめて記述がされており、項目を分ける必要があるのか。「2. 資源・エネルギー」についての記述が抜けているように見える。1つの項目にまとめてはいかがか。

(会 長)

今後、「2. 資源・エネルギー」と「3. 地球環境問題」それぞれに内容を記述してはどうか。

(委 員)

全体的に文字や数字が多い。親しみやすい水辺や緑が出てくるので、写真やイラストをふんだんに使用したほうがなじみやすい。

(事務局)

入れるようにする。

(委 員)

重複しているところがあるように感じる。P90、P96「環境教育・環境学習の推進」は重複しており、どちらかというところ、基本目標 4 環境教育・環境学習に入れるべき内容ではないか。

(事務局)

現行計画は一つの取り組みがいろいろなものに波及するということから、再掲が多い。

(会 長)

再掲の部分については、表記を変更する。

(委 員)

P97 出前講座（生涯学習課）は 0 回なのか。開催していない場合は、掲載しないほうがよい。

(事務局)

環境学習アドバイザーや職員の派遣等による講座は実施しているが、生涯学習課で行っている事業「生涯学習まちづくり出前講座」としての実績は、0 回である。

実施状況として、開催していない場合は、「実施せず」という表記に修正する。

(委 員)

P97 市民大学は、のべ 10 人と捉えかねないので、「受講生 10 人」としたほうがよい。

(事務局)

「受講生 10 人」に修正する。

(委 員)

「資源ごみ」は、ごみではなく資源としての意識を持って集団回収を行っていることから、別のネーミングを考えたらどうか。

(会 長)

廃棄物減量等推進審議会で審議している。

(事務局)

ごみだったものが資源になるということから「資源ごみ」という名称になっている。廃棄物減量等推進審議会でも、今後の表記について、考えをうかがってみる。

(委員)

三番瀬には、企業庁が設置した柵があり、立ち入りが制限されている。清掃活動などで立ち入ることができるのはなぜか。

(事務局)

千葉県が所管している場所ではあるが、立ち入りが制限されているので、活動団体がボランティアとして水辺清掃をするための立ち入りを都度、申請している。

(会長)

活発なご意見ありがとうございます。

本日、委員の皆様からいただいたご意見等を踏まえて、平成 25 年版環境基本計画年次報告書を作成するということになる。

○その他

(事務局)

次回、第 5 回審議会は、「第 2 次環境基本計画」を議題として、1 月 28 日（火）午後 2 時からの開催を予定している。年明けに開催通知を送付する。

(会長)

以上で、本日の環境審議会を終了します。

○閉会